

(平成23年9月9日)

泰伯第八

11 子曰く、如し周 公の才の美有りとも、驕 且つ吝ならしめば、其の余は観るに足らざるのみ。

孔子が言うには周公のように優秀な人で、他に並ぶものなし、及ぶものなしという場合でも、驕は驕りたかぶり、吝はけちんぼという事ですから、其の余は観るに足らざるのみです。

威張り屋でケチンボであるのならば、いくら優秀な才能があると言っても、見るに値しない人物であると考えて下さい。

という事は今の時代でみますと、才能が素晴らしくあるけれども、威張っていてケチであるならば、評価に値しない。そういう人は周りを見渡すと、かなりいるような気がします。

もう一つ、自己反省をして、自分はどこかで威張っていないか、ケちな真似をしていないかと自分自身を見直すことが肝要です。

論語は、自己反省の言葉がありますので、そのように見ると良いでしょう。

12 子曰く、三年学んで穀に至らざるは得易からざるなり。

孔子が言うには、三年というのは長い年月と云う事で、1年2年3年という事ではありません。長い年月学んでいて、穀に至るとは就職のことです。今で言うと、就活活動です。

論語の中で出ているのは、官吏やお役人になりたい。お役人になって、高給をもらう。

なかなか得難い人だというのは滅多にいない。今の時代ですと大学・大学院にいて、一所懸命勉強したけれど、就職活動をしないで、卒業をしても勉強勉強とする人は、まずいない。そういう人がいれば雇いたいという人がいるものだがと云う風に捉えます。

今の時代は、これはもうお目にかかった事が無い。聞いた事が無い。やはり卒業したら就職するのは普通だという時代だからだと思います。

13 子曰く、篤く信じて学を好み、死を守りて道を善くす。危邦には入らず。乱邦には居らず。天下 道有れば、則ち見し、道無ければ則ち隠る。邦 道有るに、貧しく且つ賤しきは恥なり。邦 道無きに、富み且つ貴きは恥なり。

信じるとは、聖人に至る道はこれだと信じて、熱心に学問に打ち込むことを好み、死ぬまで道を守り、道に外れないように努力をすることです。

危邦と云うのは、滅びようとしている国で、乱邦は内乱を起こしている国。滅びよう

としている国に専制君主のような存在はいない方が良い。内乱を起こしている国はちょっと怖いですね。

天下道あれば則ち見し。世の中が治まっている時は、表に出て活動をする。世の中が治まっていない時には、表に出ない。隠れて住んでいる。

邦 道有る時、その国に道義があり良く治まっていれば、貧しくて賤しいというのは恥だ。世の中がキチッと治まっている時、能力のある人は、かならず見出されるものなので、見出されないのは恥辱であると捉えて下さい。

その国が、良く治まっていない混乱している時、恥じない人はとにかく節操がなく、何でもかんでも貪り、お金持ちになったり、そういう地位を求める。そういう世の中の時に偉くなっていくのは恥辱であると孔子は考えていています。

これを今の時代でいえば、世の中が治まっている様に見えますけれど、東日本大震災があって、治まっているとは云えない状況にきています。ですから今の時代は、両方ともとれるので、難しいところです。御本人が、今平和で良い国だと思っていれば、貧しくて賤しいのは恥辱だと思うし、これだけ政治が乱れ、経済が乱れ、教育が乱れている時に、金持ちになったり、地位についたりするのは恥辱であると思えば、隠れていけば良いというふうに考えます。そういう点で云うと、松下幸之助さんがつくった政経塾から、大勢の人達が国会議員になり、その中の1期生である野田さんが総理大臣になったというのは、これは、どちらで解釈すれば良いのかは、それぞれの御判断であろうと思います。

どちらを恥辱と考えますか？

14 子曰く、^{しいわ}其の^そ位^{くらい}に有らざれば、^あ其の^そ政^{まつりごと}を謀らず。^{はか}

この間の民主党の代表選挙そのもののような感じがします。

総理大臣と云うポストについていなければ、無責任な放言はしない方が良い。政治について、云わない方が良いでしょうと云う風に捉えます。そして、今、野田さんは、総理大臣になりましたから、思った事を、それなりに発表し、それなりに進めば良い。そういうポストについたので、思う存分やって頂いたら良いなと感じます。ただ、余計な事を申しますと、前にどじょうの話と雪だるまの話をしましたが、良い話をするものだと、テレビを見ていて感じました。

どじょうが金魚の真似をしても駄目だよ。政治家は雪の坂道を雪だるまを押し上げるものだと。なかなか良い事を言うなと思ったのですが、どうもネタが段々伝わって来ると、色々と事前に調べていたようで、輿石さん幹事長になって下さいねという手を1ヶ月前から、エールを送り続け、その集大成が代表選の時の演説だったという様な事です。ネタが割れて見ると、あの場所を借りて、エールを送り人事の手を打ったのです。ネタが割れない方が良いのにと感じます。今はマスコミが何でも調べて、流しますから。

少しは見えないでそっとしていた方が良いなと感じています。

政治家の中で雪だるまの考えは実に良いなという風を感じています。ポストについてのだから思う存分にやれば良いと思います。

15 子曰く、師^し擊^しの始^はめ、関^{かん}雎^{しよ}の乱^あり、洋^{よう}洋^{よう}乎^ことして耳^みに盈^みてるかな。

師匠の師は、楽師と云う意味で、その次の撃は、名前です。撃楽師長です。

撃が楽師長になった時、関雎という詩経の始めの篇を演奏して、それらが美しく、盛んで耳の中に良い調べが満ち溢れてくる。そういう音楽を撃楽士長が、演奏した。この音楽は素晴らしいな、と孔子が感じた訳です。孔子は音楽が大好きでした。

この時代の音楽というのは聞いて、自分のものにする。この時代の教養が自然と身につくものだと言う事ですので、音楽を身につけたのは教養人であるという証拠だと捉えます。今の時代に比べるとずいぶん違うなと思います。